

上手な使い方「果菜類編」

# グロースター<sup>®</sup> トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

荷姿：5Kg ポリ缶、20Kg ポリ缶

果菜類の養分供給、  
養分バランス調整に!



 サンアグロ



## 上手な使い方「果菜類編」

# グロースター<sup>®</sup> トリオ

グロースター 1号

グロースター M

グロースター 2号

### ■果菜類の一般的な生育特性

育苗後半にはすでに花芽分化(生殖生長)が行なわれています。

本圃へ定植されたあと開花・結実・肥大がおこり、同時に新しい茎葉の発育(栄養生長)と新しい花芽の分化・発育が同時進行しています。

着果量が増してくると新芽や地下の根への養分の分配量が減じて肥料養分・水分の吸収が悪くなります。そのため茎葉の発育が弱くなり、新しい花芽も貧弱なものしかできません。また、結実・肥大が不良であると栄養生長が盛んになり過繁茂状態となりますので、やはり新しい花芽が貧弱になります。

### ■品質の高い果実を安定生産するために

栄養生長と生殖生長のバランスを常に整えることが必要で、育苗中からチッ素栄養をコントロールし、素質の優れた花芽と同化養分を十分に持つ苗作りを心掛けます。定植後は根の活力を維持しながら、茎葉はもちろんのこと新芽の発育に必要な養分を不足させないような栽培管理を行なわなければいけません。

生長のバランスは栽培環境に大きく左右されます。そのため露地・施設栽培を問わずバランスの変化に速やかに対応し、好ましい方向への樹勢調整が重要です。この調整には葉面散布グロースタートリオを欠かすことはできません。

### ■葉面散布グロースタートリオ

グロースターは糖分を含んでいます。

独自の処方による製造で他社の葉面散布材と異なり、100倍または条件によっては50倍という高濃度散布を可能としています。

高濃度散布によってグロースターは迅速に且つ抜群の効果を発揮します。

### ●グロースタートリオの種類と内容成分

(%)

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター 1号	6	2	3	0	9
グロースター M	1	5	5	1	9
グロースター 2号	0	5	5	0	9

### ●グロースタートリオの主な特長

グロースター 1号 …… 作物の各器官の生長を促進させるための養分を供給します。

グロースター M …… 体内の同化作用を活発化させるために養分のバランスを調整します。

グロースター 2号 …… チッ素が過剰な状態で徒長、過繁茂になっている場合に養分バランスを調整します。

急速に栄養生長から生殖生長に切り替える場合、体内養分のバランスを調整します。



## ■ 果菜類でのグロースタートリオの効果的な使い方

### ▶ 育苗

#### ・基本的な使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
各果菜類共通	葉色淡く、生育の進みが遅い場合	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布
	葉色濃く、葉・葉柄が太く、大柄な苗になり始めた場合	木ぼけ抑制のための養分バランスの調整	グロースター M	150倍	4~5日	2~3回散布
	樹勢は普通だが、葉肉が薄い場合	同化養分の蓄積を目的とした養分供給	グロースター M	150倍	4~5日	連続散布

#### ・必要に応じた使い方

使用場面	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
農薬の薬害からの回復	生育促進のために養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布
耐寒性、耐霜性強化	植物体内養分濃度を上昇させるための養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布

### ▶ 本 圃

#### ・きゅうり

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植期~1か月	生育不良、農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	150~100倍	4~5日	連続
	徒長(木ぼけ)、子づるの発生不良	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	3~5日	連続
最盛期	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号	100倍	4~5日	連続
後期	品質維持	健全生育のための養分バランスの調整	グロースター 1号とグロースター Mとの混合	1:1に混合して100倍	5~6日	連続

#### ・なす

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
育苗期	健苗育成	養分バランスの調整	グロースター M	200~150倍	4~5日	連続
	ぼけ苗	養分バランスの調整	グロースター 2号	200~150倍	4~5日	連続
	農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	200~150倍	3~4日	連続
定植活着~3番花	着花、木ぼけ	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
最盛期	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号	100倍	4~5日	連続
後期	品質維持	健全生育のための養分バランスの調整	グロースター 1号とグロースター Mとの混合	1:1に混合して100倍	5~6日	連続

#### ・トマト

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着~第2果房着果	花芽分化、木ぼけ	養分バランスの調整	グロースター Mまたはグロースター 2号	150~100倍	5~6日	3回以上
	果実肥大	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
	農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	200~150倍	3~4日	3回以上
第3果房着果以降	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号またはグロースター M	100倍	4~5日	連続

#### ・ピーマン

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着~収穫はじめ	徒長(木ぼけ)、同化作用	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
最盛期	収穫盛期、生理落花	養分バランスの調整	グロースター 1号またはグロースター M	100倍	4~5日	連続
	病気の発生	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	100倍	4~5日	3回以上



## ■ 果菜類でのグロースタートリオの効果的な使い方

### ・いちご

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
親床	ランナーの発生	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	3～4日	連続
仮植～ 完全活着まで	活着、生育促進	活着促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	3～4日	連続
活着後～ 花芽分化 15 日前	根量増大	健苗育成のための 養分供給	グロースター M	100倍	4～5日	連続
花芽分化 15 日前～ 花芽分化終了	花芽分化期	花芽分化促進のための 養分供給	グロースター 2号	100倍	3～4日	連続
花芽分化終了～ 定植	花芽充実期	苗質向上のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	4～5日	連続
保温開始～ 頂花房開花	花芽生育促進	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	5～6日	連続
	徒長(木ぼけ)、同化不良	養分バランスの調整	グロースター M	100倍	3～4日	連続
収穫期	生産力の安定、品質向上、 なり疲れ、着色期	安定生産のための 養分バランスの調整	グロースター 1号 または グロースター M	100倍	4～5日	連続

### ・すいか

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着～ 1 番花交配	適期着花	養分バランスの調整	グロースター M	100倍	4～5日	連続
	樹勢が強い	養分バランスの調整	グロースター 2号	100倍	3～4日	2回
	樹勢が弱い	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	3～4日	3回以上
1 番果肥大期	果実肥大期	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	4～5日	連続
収穫 2 週間前	糖度上昇	養分バランスの調整	グロースター M または グロースター 2号	100倍	4～5日	連続

※2 番果を収穫する場合、上記要領で繰り返し、グロースターの散布を続けます。

※小玉スイカにも応用できます。

### ・メロン

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着～ 1 番花交配	生育促進、日焼け	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	150倍～ 100倍	5～6日	2回以上
	徒長(強い)	養分バランスの調整	グロースター 2号	100倍	4～5日	2回以上
	徒長(弱い)	養分バランスの調整	グロースター M	100倍	4～5日	2回以上
果実肥大初期	果実肥大	生育促進のための 養分供給	グロースター 1号	100倍	4～5日	2回
果実肥大中・後期	ネット系メロン 果実肥大期	養分バランスの調整	グロースター M	100倍	5～6日	2回
	マクワ系メロン 果実肥大期	養分バランスの調整	グロースター 1号と グロースター Mとの 混合	1:1 に混合 して 100倍	5～6日	2回
収穫 2 週間前	糖度上昇	養分バランスの調整	グロースター M	100倍	3～4日	2回以上



注意

- 農薬と混用する場合は当該農薬との混用可否について確認のうえ、農薬の使用上の注意事項を守ってください。
- 強いアルカリ資材とは混用しないで下さい。アンモニアが発生し、植害を起こすことがあります。
- 幼児等の手の届く所に置かないで下さい。
- 高温にならない冷暗所に保管してください。

- 荷崩れや荷のつぶれがおこらないように、保管をして下さい。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。

石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

「グロースター」は日産化学工業株式会社の登録商標です。

製造

 **サンアグロ**

取扱



上手な使い方「果樹類編」

# グロースター<sup>®</sup> トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

荷姿：5Kg ポリ缶、20Kg ポリ缶

果樹類の養分供給、  
養分バランス調整に!





## 上手な使い方「果樹類編」

# グロースター<sup>®</sup> トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

果樹生産の激しい産地間競争に打ち勝つためには、的確な肥培管理を行い常に品質の高い生産物を安定的に供給することが第一です。

そのためには、果樹の生育生理に合わせたキメの細かい樹勢調節をしっかりと行うことが必要です。グロースタートリオは充分これに応えてくれます。

### ■果樹類の一般的な生育特性

#### ●萌芽・展葉期

地温・気温の上昇とともに樹液の体内流動も活発になり萌芽・展葉が始まります。そして貯蔵養分を原料として葉が発育・展開し光合成を始めます。しかし展葉間もない葉の光合成能力は各種養分が不足しているため充分でなく、これから発育してくる花芽の素質が不良となりがちです。

#### ●開花・結実期

開花・受精後の果実は直ちに盛んな細胞分裂を開始します。この時期に栄養状態を積極的に高めると細胞数が増加し、大きな果実になる素質が確立します。新梢の伸び方は樹勢の強弱を判断する目安になります。適期に新梢が停止していなければ果実の品質(肥大・着色)、花芽の分化に悪影響を及ぼします。逆に新梢の伸びが弱すぎた場合も同様のことが言えます。将来品質の高い生産物を得るためには、この時期からの樹勢の微調整が大切です。

#### ●果実肥大・着色期

この時期の前半では、積極的な果実肥大の促進、後半では着色糖度を含む品質向上に様々な技術を用いますが、なかなか期待通りにいかないのが現状です。そこで、グロースターを各種用途に応じて併用すると果実の肥大・品質の向上に大きく貢献し、優れた生産物を安定的に供給することができます。

#### ●収穫期後半

生産活動のために落込んだ樹勢の早期回復、花芽の充実、蓄積養分の増大等を行う大切な時期です。

### ■葉面散布グロースタートリオ

グロースターは糖分を含んだ葉面散布材です。

独自の処方による製造で他社の葉面散布材と異なり、100倍または条件によっては50倍という高濃度散布を可能としています。

高濃度散布によってグロースターは迅速に且つ抜群の効果を発揮します。

石灰硫黄合剤との混用は、硫化水素などの有毒ガスが発生する恐れがありますので、混用しないでください。

### ●グロースタートリオの種類と内容成分

(%)

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター1号	6	2	3	0	9
グロースターM	1	5	5	1	9
グロースター2号	0	5	5	0	9

### ●グロースタートリオの主な特長

グロースター1号……作物の各器官の生長を促し、その働きを活発化します。

グロースターM……土壌からの養分吸収を促し、体内の同化作用を活発化します。

グロースター2号……土壌中のチッ素の吸収を一時的に抑え、体内の未消化チッ素の同化を促します。



## ■ 果樹類でのグロースタートリオの効果的な使い方

### ▶りんご

#### ・基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花前	生育促進のための養分供給	グロースター1号	150倍		1回
花が散った直後	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
サビ果発生危険がなくなった時	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
収穫25日前から	果実肥大、着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	4-5日おき	2回

#### ・必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
展葉期-新梢停止期	凍霜害、葉害発生	回復ための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回
	新梢徒長	樹体養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	5-6日おき	2回
果実肥大期	玉伸び不良、肥大不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	2回以上
収穫中期-落葉期	翌年の花芽の準備	樹体養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	2回

### ▶ぶどう

#### ・基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花1週前	花ぶるい防止のための養分バランスの調整	グロースター2号	100倍		1回
開花1週後	花ぶるい防止、シベレリン処理後の養分バランスの調整	グロースター2号	100倍		1回
満開15日以降	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号またはグロースターM	100倍	5-6日おき	3回
収穫後	花芽の充実、貯蔵養分の増加のための養分供給	グロースター1号またはグロースターM	100倍	5-6日おき	3回

#### ・必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
発芽-展葉期	窒素過多、徒長	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	3回
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	3回
展葉期(本葉5-6枚)-開花期	強樹勢	樹勢抑制、花ぶるい抑制のための養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	3-4日おき	2回以上
	樹勢不良	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3-4日おき	3回以上
果実肥大期-着色期	窒素過多、徒長	樹勢抑制、同化促進のための養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5-6日おき	3回
	蓄積養分不足	樹体養分増加のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	3回
着色期	着色不良	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	4-5日おき	3回

※無袋栽培では果粉発生期以降は散布しないでください。 ※有袋栽培の場合でも、除袋後は果実を汚すことがありますので散布しないでください。

### ▶もも(中晩性種)

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
硬核期以降	果実肥大促進のための養分供給	グロースターM	100倍	4-5日おき	2回
硬核期以降	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターM	100倍	4-5日おき	2回



## ■ 果樹類でのグロースタートリオの効果的な使い方

### ▶ おうとう

#### ・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
花が散った直後	生産力向上、低温抵抗性の向上のための養分供給	グロースター1号	150-100倍		1回
着果直後	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
幼果の傷つきの危険がなくなった時	果実肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍		1回
肥大中期-収穫期	果実肥大、着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5-6日おき	2回

#### ・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
果実肥大期	玉伸び不良	細胞分裂促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4-5日おき	2回
収穫中期-落葉期	翌年の花芽の準備	樹体養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5-6日おき	2回

### ▶ 露地みかん(成木園)

#### ・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
開花終了後	生理落果防止のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回
着色期	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	5日おき	2回
収穫後	樹勢回復のための養分供給	グロースターM	100倍	5日おき	2回

#### ・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
開花期	樹勢不良	新梢伸長と開花促進のための養分供給	グロースター1号	200倍	5日おき	2回以上
2回目の摘果後	樹勢不良	果実の肥大促進、品質向上のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回
7月上旬-8月下旬	干ばつ天候	干ばつからの樹勢回復のための養分供給	グロースター1号	100倍	5日おき	2回以上

### ▶ かき

#### ・ 基本的な使い方

散布時期	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
最終摘果後	肥大促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4-6日おき	2回
収穫30日前	着色促進、糖度向上のために養分バランスの調整	グロースターMまたはグロースター2号	100倍	4-6日おき	2回

#### ・ 必要に応じた使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
萌芽-開花期	樹勢不良、天候不良、農薬害	萌芽の均一化、低温抵抗性の向上、生産力向上のための養分供給	グロースター1号	150-100倍	5-6日おき	2回以上
満開-7-10日	樹勢不良	生理落果防止、生産力向上のための養分供給	グロースター1号	100倍	5-6日おき	2回



注意

- 農薬と混用する場合は当該農薬との混用可否について確認のうえ、農薬の使用上の注意事項を守って下さい。
- 強いアルカリ資材とは混用しないで下さい。アンモニアが発生し、植害を起こすことがあります。
- 幼児等の手の届く所に置かないで下さい。
- 高温にならない冷暗所に保管してください。

- 荷崩れや荷のつぶれがおこらないように、保管をして下さい。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。

石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

「グロースター」は日産化学工業株式会社の登録商標です。

製造

 サンアグロ

取扱



上手な使い方「葉菜類編」

# グロースター<sup>®</sup> トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

荷姿：5Kg ポリ缶、20Kg ポリ缶

葉菜類の品質向上  
生育促進などに.....





# 上手な使い方「葉菜類編」

# グロースター<sup>®</sup>トリオ

グロースター 1号

グロースター M

グロースター 2号

## ■葉面散布グロースタートリオ

グロースターは100倍または条件によっては50倍という高濃度散布が可能です。このため多量に吸収されたグロースターは迅速に、且つ抜群の効果を発揮します。

### ●グロースタートリオの種類と内容成分

(%)

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター 1号	6	2	3	0	9
グロースター M	1	5	5	1	9
グロースター 2号	0	5	5	0	9

### ●グロースタートリオの主な特長

グロースター 1号・・・作物の各器官の生長を促進させるための養分を供給します。

グロースター M・・・体内の同化作用を活発化させるために養分のバランスを調整します。

グロースター 2号・・・チッ素が過剰な状態で徒長、過繁茂になっている場合に養分バランスを調整します。急速に栄養生長から生殖生長に切り替える場合、体内養分のバランスを調整します。

## ■グロースタートリオの効果的な使い方

### ・普通葉菜類(ほうれんそう・セルリーなど)

散布時期	目的	散布方法
育苗～生育初期	生育促進、耐病性向上のための養分供給	グロースター1号 150～100倍液 5～6日おき2回以上(セロリは7日おき連続)
生育中期～収穫	生育促進、品質・日もち向上、耐病性向上、抽苔防止のための養分バランスの調整	グロースター1号 100倍液 4～5日おき3回(セロリは3回以上)

### ・結球葉菜類(キャベツ・レタス・はくさいなど)

散布時期	目的	散布方法
育苗期	健苗育成、耐病性向上のための養分供給	グロースター1号 150～100倍液 4～5日おき3回
結球期	品質向上、収量増加、結球促進のための養分バランスの調整	グロースターM 100倍液 5～6日おき2回以上
収穫一週間前	品質・日もち向上、見ばえ向上のための養分供給	グロースター1号 100倍液 4～5日おき2回



注意

- 農薬と混用する場合は当該農薬との混用可否について確認のうえ、農薬の使用上の注意事項を守って下さい。
- 強いアルカリ資材とは混用しないで下さい。アンモニアが発生し、植害を起こすことがあります。
- 幼児等の手の届く所に置かないで下さい。
- 高温にならない冷暗所に保管してください。

- 荷崩れや荷のつぶれがおこらないように、保管をして下さい。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。

「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

「グロースター」は日産化学工業株式会社の登録商標です。

製造

**サンアグロ**

取扱